

令和4年度
名寄市教育改善プロジェクト委員会

教育経営の充実に関する研究
(部活動改革) グループ

教育経営の充実に関する研究グループ（部活動改革）

1 「部活動改革」とは

今まで

- 教師の献身的な支えによるスポーツ・文化芸術振興
- 好ましい人間関係・自己肯定感・責任感・連帯感の寛容
- 生徒の自主的で多様な学び場としての教育的意義

現状

- 少子化による従来通りの運営体制の維持・存続が困難
- 専門性や意思にかかわらず顧問を務める指導体制の継続が困難

そこで

- 生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動の実現
- 学校と地域の連携・協働による部活動の改革
- 生徒や保護者の負担を考慮した持続可能な活動環境の整備

教育経営の充実に関する研究グループ（部活動改革）

2 部活改革の目標と具体策

持続可能な部活動

両方の実現

教師の負担軽減

国が示した具体的な方策

1 休日の部活動の段階的な地域移行

- (1) 休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保
- (2) 保護者による費用負担、
地方自治体による減免措置等と国による支援
- (3) 拠点校（地域）における実践研究

2 合理的で効果的な部活動の推進

- (1) 合同部活動の推進
- (2) ICT活用の推進
- (3) 地方大会の在り方整理（民間団体の中体連への参加）

令和7年度末までに
休日の部活動を
地域移行していく！

※平日の部活動の地域移行
はできるところから取り組む。
（運動部活動の地域移行に関する検
討会議 令和4年6月6日スポーツ庁）

教育経営の充実に関する研究グループ（部活動改革）

3 名寄市の部活動改革 令和4年度の取り組み

【部活動指導員・特別部活動指導員】

- 市内各校で活用
- 令和4年度は30名の部活動指導員・特別部活動指導員が登録済
- バレーボール・バスケットボール・卓球・柔道・剣道・スキー競技等
- 新規の部活動指導員を希望する部活動が増加

【部活動バス】

- 市内各校で活用
- 合同チームとして活動している部活動で活用
- 導入部活動(バレーボール・バスケットボール・野球)

【ICT部活動支援事業】

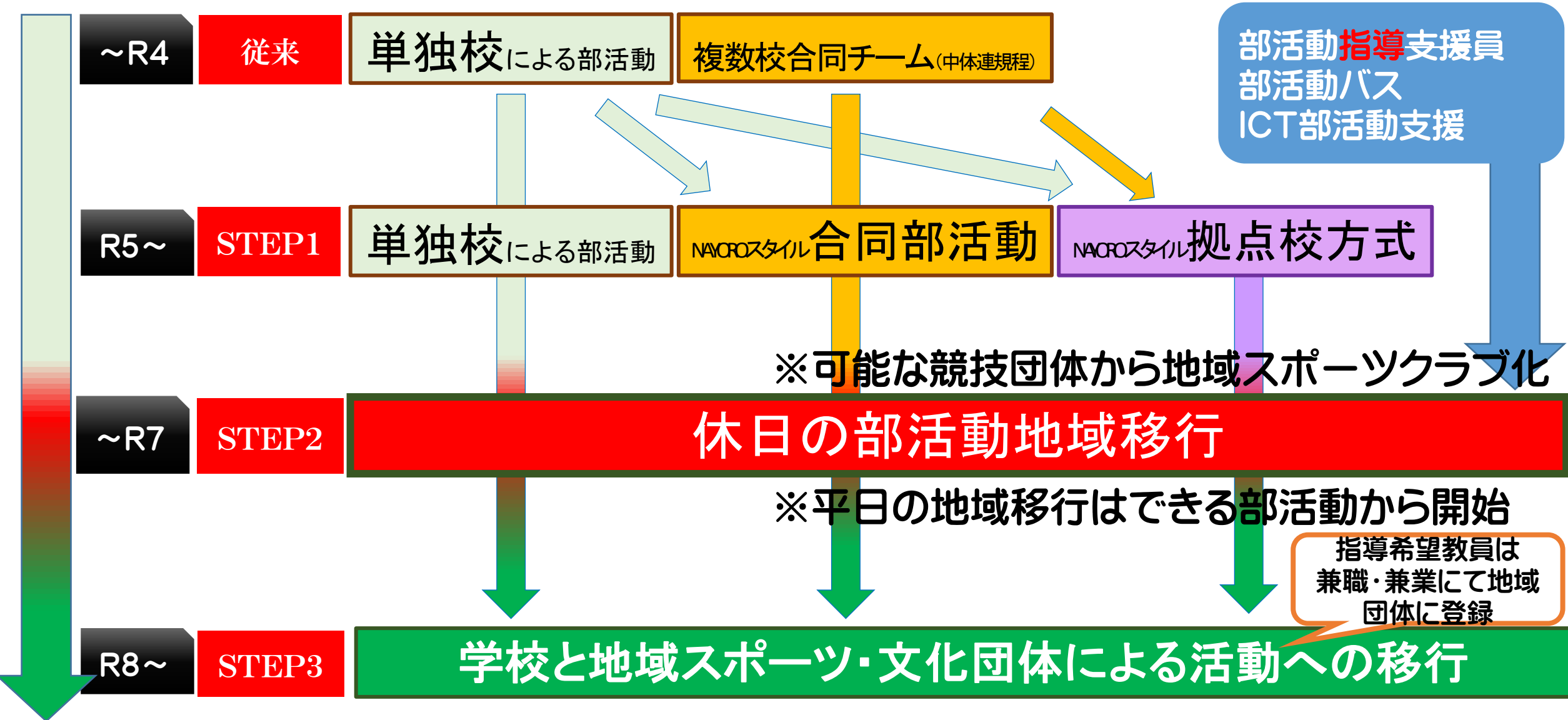
- 市内3校での活用
- 野球・ソフトテニス・バレーボール・バスケットボール

こちらのQRコードから詳細がご覧になれます！↓↓↓



教育経営の充実に関する研究グループ（部活動改革）

4 NAYOROスタイル部活動改革推進事業（案）



教育経営の充実に関する研究グループ（部活動改革）

5 NAYOROスタイル合同部活動（案）

現在

中体連合同チーム規定に基づいて合同部活動を実施



R5

NAYOROスタイル合同部活動での実施

- 部員数に関係なく複数校の部活動が合同で練習し、大会に参加。
- 大会主催者による規定により大会ので参加制限。
- 中体連は中体連合同チーム規定に基づいた申請が必要。
- 主体校において競技、指導経験のある教員や部活動指導員による指導。
- 主体校以外の編成校に指導者が配置できない場合も実施は可能。



教育経営の充実に関する研究グループ（部活動改革）

6 NAYOROスタイル拠点校方式（案）



A中

A中学校
（例）バスケットボール部
吹奏楽部

B中学校
（例）卓球部・美術部



B中

どの中学校の部活動にも所属可能！！

【対象】
市内の全中学生

拠点校に
競技・指導経験のある教員又は、
部活動指導員等を
配置

指導体制を総合的に判断し部活動を1つの中学校を指定限定して設置
(年度毎に見直し)

C中学校
（例）ボランティア部



C中

D中学校
（例）野球部
バレーボール部



D中

教育経営の充実に関する研究グループ（部活動改革）

7 成果と課題

- 【成果】**
- 部活動指導員等と顧問の連携により教員の負担軽減
 - 部活動バスにより保護者の送迎に係る負担を軽減、及び生徒の活動の場を保障
 - NAYOROスタイル部活動改革推進事業推進計画により今後の方向性を共有

- 【課題】**
(次年度に向けて)
- 休日の部活動の地域移行について地域、保護者への理解促進
 - 市内各校の部活動にかかわる経費やの取り扱い及び活動時間等の調整
 - 教員の兼職・兼業の制度化